

第3回 相談部会 報告書

令7年9月10日

開催日時	令和7年9月10日(水) 13:30～	場所	ふれあい福祉センター4階会議室5
部 会 員	相談支援室カラフル、ボスケツト、稲荷山医療福祉センター、障害者相談支援センター稲荷山太陽の園、いなりやま福祉会相談支援事業所、けいあいエール、坂城町社会福祉会指定相談支援事業所、しょう相談支援センター、しあわせ、相談支援事業所みらい、地域生活支援センターCoCoながの、千曲市社協相談支援事業所、ろぜっと、長野市障害者地域移行コーディネートセンター、千曲・坂城障がい者(児)基幹相談支援センター、坂城町福祉健康課、千曲市福祉課		
			出席 25 名

(1) 報告事項、ほか

- ・自立支援協議会全体会の開催が12/13(土)に決定した。部会員にも応援要請があるかもしれないのでご協力を。
- ・7/22に県自立支援協議会(相談機能強化会議 人材育成部会等)が開催された。初任者研修や現任者研修に関する情報共有のほか、モニタリング検証についてどのように行っているのか発表があった。
- ・8/19に主任相談連絡会開催。スキルアップのための研修の企画や法定研修(現任研修、初任者研修)への協力などについて話し合いを行った。

(2) 協議事項 および 内容

- 勉強会①前回の研修「事例を通して学ぶ、意思決定支援」を振り返ってグループワーク
悩んでいる事例について共有し、検討する
- ・5グループに分かれ、それぞれ抱えるケースを共有し、話し合いを行った。その後地域移行コーディネーターの西川さんより、前回の研修を振り返りつつどのように意思決定支援を行っていくかまとめをお話いただいた。
- 【Aグループ】
- ・意思決定において家族の思いに本人の意思が引っ張られてしまう事がある。色々な関係者からの視点を入れたい。
 - ・意思が明確になっているが、その選択をすることで大きな失敗が見えている場合どうしたらよいか考えた。
- 【Bグループ】
- ・選択肢を提示し、本人が決めるにあたっては、それまでの経験が必要になってくる場面がある。
 - ・本人の意向がおそらく本意ではない場合に、どのように関わって行けばよいか。
- 【Cグループ】
- ・本人と家族の意向の相違について、本人・家族へのアプローチの方法。
 - ・失敗も含めて経験値を上げていくことも大切。
- 【Dグループ】
- ・大きな目標に向け、一つ一つ小さな目標を達成していくことも本人の意向を叶えるための方法。
- 【Eグループ】
- ・本人のニーズ≠福祉サービス。自費ヘルパーなど制度以外のものも活用していく。
- 勉強会②「就労選択支援について」しょう相談支援センター牧さん
- ・10月に始まる就労選択支援において、制度の内容や、相談支援専門員としての役割・動き方を確認。また、就労に関わる障害福祉サービスについても改めておさらいした。
 - ・本人の「こうありたい」「こうなりたい」を実現するために、相談支援専門員が果たすべき役割をもう一度振り返って支援にあたってほしいと話があった。

(3) 結果

- ・意思決定支援について、前回部会の研修を通じて学んだこと、現在直面している課題等を共有できた。
- ・就労選択支援の制度や相談支援専門員の役割について確認した。

地域連絡会で検討したい課題 []

(4) その他（お知らせ・次回開催日など）

- ・10/18坂城町において「さかきユニバーサルフェスタ」が開催される。どなたでも参加可能。
- ・さんきゅーあーと展が今年度も1月から2月にかけて実施される。昨年同様坂城会場、千曲会場において開催予定。
- ・9/21「協理後援デザインサービス事業所合同説明会」が開催予定。来年度協理後援デザインサービス利用希望者向け

9/27に秋除区すまいるひろふすまいる日開就初会が開催予定。千曲及秋除区すまいるひろふすまいる市主催同好。

- ・10/19にくらしと健康の相談会が実施される。詳しくは千曲市保健センターへ。
- ・10/10に千曲市社会福祉協議会主催で、成年後見制度に関する講演会を実施予定。